

令和3年度 スクールカウンセラーの利用状況報告について

(1) 利用者延人数

利用者	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	保護者	教員	その他	合計	前年同期
小学校	764	839	889	1,025	1,763	1,065	1,973	5,222	239	13,779	11,937
中学校	432	905	357				843	2,292	134	4,963	4,352
										18,742	16,289

(2) 内容別延件数

相談内容	利用者 人数	小学校					中学校						
		児 童	保護者	教員	その他	合計	生 徒	保護者	教員	その他	合計	前年同期	
			回数	回数	回数	回数		回数	回数	回数	回数		回数
①不登校		379	425	663	63	1,530	1,510	681	398	788	3	1,870	1,171
②いじめ		35	9	21	0	65	56	6	1	6	0	13	10
③友人問題		1,166	90	466	18	1,740	1,306	88	18	55	0	161	145
④問題行動等	暴力行為	29	12	30	0	71	52	3	4	21	1	29	42
	非行・不良行為	45	19	61	1	126	79	3	2	11	5	21	77
⑤情緒不安定		877	321	788	18	2,004	1,819	153	74	212	8	447	440
⑥性格・行動		878	409	1,301	36	2,624	1,956	112	80	201	7	400	257
⑦生活習慣		70	32	84	1	187	203	8	9	11	0	28	78
⑧身体・健康		87	25	70	0	182	182	13	28	50	7	98	94
⑨学習・進学		217	134	253	16	620	654	83	62	118	12	275	202
⑩家庭・家族		394	65	441	25	925	940	72	18	73	10	173	242
⑪虐待		14	6	35	5	60	40	3	0	3	0	6	13
⑫対教師		80	26	53	0	159	119	4	1	6	0	11	12
⑬部活等		2	0	0	0	2	3	15	2	5	0	22	22
⑭自己理解		20	2	9	0	31	49	135	0	6	0	141	202
⑮子育て		3	94	45	0	142	147	1	45	17	0	63	29
⑯発達障害		266	261	500	14	1,041	1,155	89	64	222	19	394	357
⑰カウンセリングの方法		5	7	24	0	36	61	2	1	9	2	14	35
⑱学外との連携		25	3	32	25	85	73	9	1	10	3	23	19
⑲話相手		1,295	3	69	3	1,370	962	163	4	19	1	187	316
⑳貧困の問題		35	0	0	0	35	14	2	0	0	0	2	0
㉑その他		423	30	277	14	744	557	49	31	449	56	585	589
合 計		6,345	1,973	5,222	239	13,779	11,937	1,694	843	2,292	134	4,963	4,352

【主な特徴】

○利用者延人数は、令和2年度と比べて、小学校では約1800人（約15%）、中学校では約600人（約14%）増加している。

○内容別には、小学校では⑥性格・行動が最も多く、次に⑤情緒不安定、③友人問題、①不登校の順に多い。

昨年度と比較し、⑥性格・行動、③友人問題、⑲話相手などの項目が増加している。

中学校では①不登校が最も多く、次に⑤情緒不安定、⑥性格・行動、⑯発達障害の順に多い。

昨年度と比較し、①不登校、⑥性格・行動などの項目が増加している。